

目標達成計画

作成日: 令和2年3月13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	ご本人のみならず、ご家族に対しても安心して当事業所をご利用いただけるよう、ご家族来所時はスタッフからの積極的な声掛け、現状説明を心掛けているが、それが十分伝わっているか確認ができておらず、ご家族によっては説明が不十分と思われる可能性がある。	ご家族来所時の積極的な状況報告のみならず、ご家族が求められている情報にも応えていく。	・ご家族来所(面会時)は、ご本人との時間を優先的に過ごしていただくよう配慮しながらも、ご家族の了承を得たうえで、状況説明の時間を設ける。 ・申し送りやケース記録に目を通し、日々の様子を把握しておき、問いに答えられるようにしておく。	3ヶ月
2	18	ご利用者が社会の一員として認識していただけるように、事業所内の家事活動に参加していただいているが、「できること」に重点をおいており、「できる可能性」については十分な支援ができていない。	「できる可能性」に目を向け、ご本人が社会の一員であることをさらに認識していただけるように役割を担っていただける支援を行う。	・現在担っていただいている家事活動は継続してサポートし、担っていない家事活動への参加を促していく。 ・家事活動は調理・清掃・洗濯にこだわらず、裁縫・手工芸など個別に取り組むを行う。	6ヶ月
3	20	馴染みの人やご家族との関係性が途切れない様に面会の受け入れ、イベント開催時はキーパーソンのみならず関係者の参加も積極的に受け入れており、今後も継続していく。	イベントなどへの積極的な参加促し。	・誕生会については、原則ご本人の誕生日に実施し、今後もご家族の参加も促していく。また喜寿・米寿などの年祝いにはイベント内容も熟慮し、よりご本人ご家族の記念となるイベントとし、関係維持をサポートする。 ・友人知人等の面会時は、より過ごしやすい環境下での面会をサポートする。	12ヶ月
4	36	個人の尊重を目的に、ご利用者に対しては敬語の使用を徹底しているが、稀に親密さが増した言葉遣いになることがある。	ご利用者のみならず、職員同士も含めすべての方に対し敬語使用の徹底。	・敬語を使う意図(個人の尊重、言葉遣いと行動の連動)を理解する。 ・コミュニケーション時は言葉遣いに意識をもって行う。 ・お互いに言葉遣いについては注意を払い、敬語が使用されていない場合は指摘を行う。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。